

【火曜2限 フィールドワークI グループ4】  
静岡県立大学 国際関係学部  
2313212 村瀬航 2313140 工藤倫子  
2313167 鈴木結菜 2313181 徳良桃子  
2313214 望月心菜



# 静岡県立大学学生 SDGsインタビュー 2023

【インタビュー実施日】  
令和5年12月19日(火)13:00~16:00  
【実施場所】イーシーセンター株式会社  
【ご担当者】沼津ステーション工場長兼  
総務部長 久松様



お忙しい中ご協力  
いただきありがとうございました！  
12/19

## 01 イーシーセンターについて

### ●どんなことをしている企業なのか

イーシーセンターは解体業・リサイクル業を中心に事業を展開しており、それに加えて地域の方々の要望に応じて稲作、新しいことへのチャレンジ精神から木耳の栽培というように、アグリ事業にも取り組んできました。また、スタッフが資格を保有していることをきっかけに、解体業へのドローンの活用に着手するなど、挑戦し続ける企業です。

### ●SDGsへの考え方

「産業廃棄物の出方、処理方法について知ることで物を大切にしてほしい」という思いのもと、イベントに参加し、主に子供や若者を対象に実際に見てもらうことで啓発を行っています。

「いかにリサイクルできないものを減らしていくか」を考え、効率的な解体、細かい分別を実施し、リサイクル率は92%を誇ります。

## インタビュー先企業様

### 株式会社イーシーセンター



## 02 調査方法

12月19日にイーシーセンター富士ステーションへ伺い、久松様からインタビュー形式でご説明頂いたのち、リサイクルの課程を第1ステーションから第4ステーションまでを見学させていただきました。そして、新しい疑問と合わせて再度インタビューをさせていただきました。



## 04 SDGsへの取り組み②

### ●米の生産

田んぼはあるが、耕作放棄地が多く、何とかしてほしいという地域の要望から始まりました。解体、リサイクルの会社ですが、農業で活用することにしました。生産・加工についてのノウハウを一から勉強しながら、全て自社で生産しています。

### ●富士木耳の栽培

富士木耳の栽培は4年前に始まりました。何か他とは違う、珍しいものを生産したいと考えていたところ、たまたま入った中華料理屋さんの料理に、就労支援施設で作られたキクラゲが入っていたことが木耳を栽培するきっかけです。

現在も次に作るものを検討しており、そのチャレンジ精神には目を見張るものがあります。

## 05 SDGsへの取り組み③

### ●多様な人材の活用

イーシーセンターではすべての人へ働きがいのある人間らしい仕事を推進しており、現在障害のある方6名、外国人労働者の方7名を雇用しています。その中には現場監督などを任される高度人材として雇われている方もいます。またただ雇用すればいいというわけではなく、多くの企業で外国人労働者や障害のある方の賃金が低いことが問題視されている中で、イーシーセンターでは他と比べて賃金が高だけでなく、社員全員のための旅行やマラソン大会、サバイバルゲームの企画など、すべての人に対して働きやすい環境づくりが行われています。

### ●発展途上国への技術支援

イーシーセンターには今年の2月6日に起きた「トルコ・シリア地震」によって大きな被害を受けたトルコから、日本の廃棄物処理技術視察のために自治体職員等が訪れました。また日本の廃棄物処理技術は世界でもトップクラスであるため、今では逆に自社の持つコンクリートガラと呼ばれる瓦礫を再利用して建物をつくる技術などを発展途上国などに広める活動も行っているそうです。

## 06 感想

リサイクル率92%と数値にもきちんと反映されていますが、工場見学をさせていただいた際に精密に分別されている様子を目にして、イーシーセンターで働く皆さんのリサイクルに対する追求心の大きさを実感しました。そして今でも、リサイクル率100%に向けて、リサイクルできないものをどうやったら減らせるかという問題に目を向けているようで、向上心の高さにも驚かされました。また、こちらも事例としてドローン事業やアグリ事業などに現れていますが、社員の意見にきちんと耳を傾けて実行に移す柔軟さや、新しいことに挑戦していく姿勢に感銘を受けました。新しい事業に着手し、多方面に根を張ることで、SDGsの17の目標全てに何らかの形で貢献できているのではないかと仰っていたのが強く印象に残っています。見習うべきことが多く、とても勉強になりました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。



## 03 SDGsへの取り組み①

### ●産廃BOX

イーシーセンターでは梱包材など建築現場で出たゴミをBOXに入れて提供しています。



### ●RPF

RPFは産業廃棄物として出た紙や木などを材料とした固形燃料です。熱量は化石燃料とはほぼ同じであり、石炭よりも低価格です。富士市内の製紙業界などのボイラーの燃料として使われています。

### ●解体作業

イーシーセンターの建設混合廃棄物のリサイクル率は92%と全国平均を上回っています。作業で出たゴミは種類ごとに分け、それぞれリサイクルを行います。焼却をするものも焼却時に発電をするなど活用をしています。



地域の未来によりそう  
しずおか焼津信用金庫

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS